

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		市債元金管理事務			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	1	自治の健全		所属部	総務部
	施策	3	持続可能な財政運営		所属課	財政課
	業務分野	13	財政事務の適正な執行		所属班	財政班
課長名		上村 祐一郎		担当者名		松本 明日美
予算科目		会計	款	項	目	事業連番
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市債の発行に関する事務及び繰上償還にかかる償還事務を行う。併せて、地方債の定期償還のうち、元金について管理を行う事務である。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む) ・昭和22年 地方自治法第230条により、地方公共団体の資金調達を円滑に行うため、制度化されたものである。 ・現在、新型コロナウイルス感染症や世界的な物価高騰への対応、エネルギーの安定供給確保など様々な課題に直面している状況で、今後の市税等の歳入の動向を見極め、市債発行額と公債費のバランスを保ち、健全な財政運営を行う事が求められる。 ・今後、公共施設の大規模な改修が予定されており、起債額の増加が懸念される。
【業務の流れ】	各課から事業内容を聞き取り、適債の確認、収支の均衡、公債費との均衡等を図り、起債を決定する。→②県との起債協議→③県からの同意通知を基に起債の借入→④借入先から発行される起債償還表を市財務システムに確実に入力し、償還計画表を作成する。→⑤元利償還を正確に遅滞なく行う。
【主な予算費目】	償還金利息及び割引料(元金償還金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

令和6年度の市債発行に伴う起債申請事務及び定期償還にかかる元金分の償還を行った。  
 令和6年度借入額 1,267,427千円(R6現年度 1,024,027千円、R5→R6繰越 243,400千円)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

令和7年度市債発行予定額 1,733,700千円(臨財債除く)  
 令和7年度元金償還見込み額 2,042,542千円

③予算の主な増減の理由

地方債元金償還見込みによる償還金の減

成果指標

ア 償還した額/償還すべき額

(単位)

%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

事業費	財源内訳	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
事業費	国庫支出金	千円	7,150	6,530	6,945		7,000	7,000	7,000	7,000
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	46,226	46,652	37,526	35,255	48,000	48,000	48,000	48,000
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	2,314,771	2,040,795	2,065,300	2,073,064	2,082,625	2,035,477	2,045,021	1,820,122
(A) 事業費計		千円	2,368,147	2,093,977	2,109,771	2,108,319	2,137,625	2,090,477	2,100,021	1,875,122

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

定期償還については期限内に定められた金額の償還を行い、適正に管理できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)